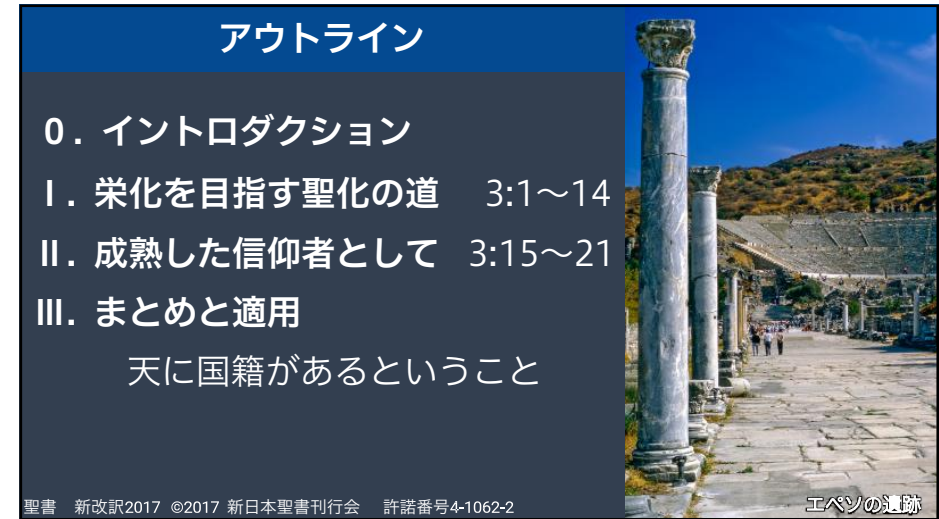




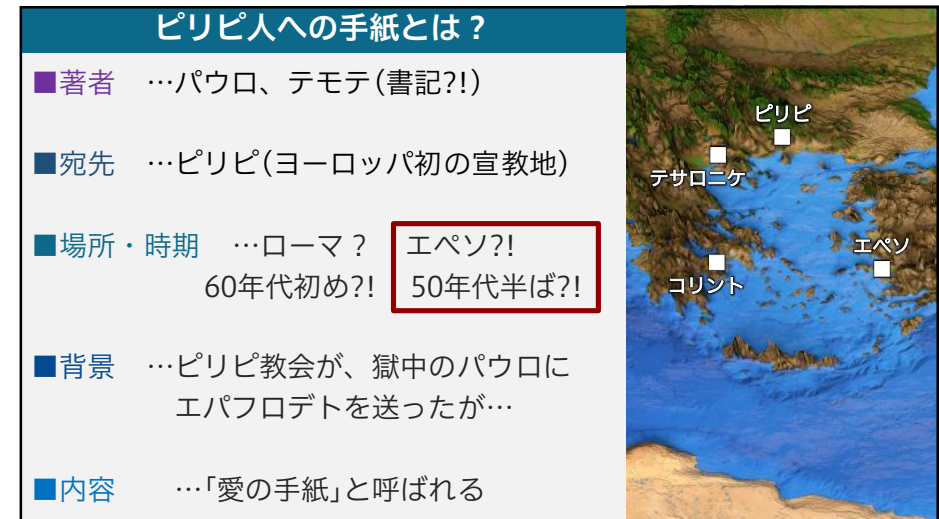
3



4



5



6



7

警鐘 前置き ピリピ3:1

最後に、私の兄弟たち、主にあって喜びなさい。私は、また同じこと*をいくつか書きますが、これ*は私にとって面倒なことではなく、あなたがたの安全のため*にもなります。

*危機の時にも、主にある喜びは失われない。

➡厳しい警告の前にも、「喜びなさい」!!

*教会にはびこる危機への警告

*霊的危機に対する警戒の大切さ。

激しい戦いの中でも主の守りは変わらない



8

勧告 真の割礼 ピリピ3:2～3

犬ども*に気をつけなさい。悪い働き人たちに気をつけなさい。肉体だけの割礼の者*に気をつけなさい。神の御霊によって礼拝し、キリスト・イエスを誇り、肉に頼らない私たちこそ、割礼の者なのです。

*偽牧者、悪い指導者(イザヤ56:11)

*「無割礼の者(異邦人)」と変わらない、
偽りの信仰者であるユダヤ人(イスラエル)

*割礼の有無に関わらず、
「御霊による心の割礼こそ割礼(ロマ 2:29)」



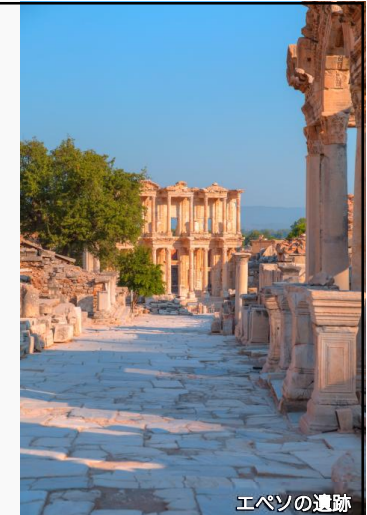
9

勧告 肉においても ピリピ3:4

ただし、私には、肉においても頼れるところ*があります。ほかのだれかが肉に頼れると思うなら、私はそれ以上です。

*正統派ユダヤ人のルーツ、経歴。

主張しようと思えばいくらでもできる。



10

勧告 パウロの正統性 ピリピ3:5~6

私は生まれて八日目に割礼を受け、イスラエル民族、ベニヤミン部族*の出身、ヘブル人*の中のヘブル人、律法についてはパリサイ人、その熱心については教会を迫害したほどであり、律法による義については非難されるところがない*者でした。

*サウル王を輩出。勇壮さで知られる。

*アブラハムに遡る最も古い民族の呼称。

*律法を遵守していた。

■さらに、希代の律法学者ガマリエルに師事。



エペソの遺跡

11

勧告 すべてにまさって 3:7~8a

しかし私は、自分にとって得であったこのようなすべてのものを、キリストのゆえに損と思うようになりました。

それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、私はすべてを損と思っています。

■主イエスの真理の前には、出自も血統も、経歴も、すべてのことが価値を失う。

主イエスを知ること以上のことはない!!



エペソの図書館跡

12

勧告 キリストにある義 ピリピ3:8b~9

私はキリストのゆえにすべてを失いましたが、それらはちりあくただと考えています。それは、私がキリストを得て、キリストにある者*と認められるようになるためです。

私は律法による自分の義*ではなく、キリストを信じることによる義*、すなわち、信仰に基づいて神から与えられる義*を持つのです。

*永遠にキリストの所有とされた者

*律法を遵守することで得られる自分の正しさ

*信仰により恵みによって与えられる、神の義



エペソの遺跡

義認→聖化

13

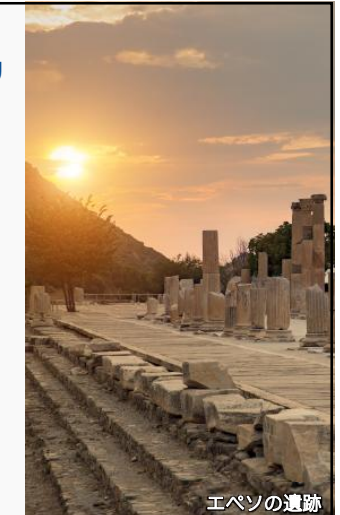
勧告 キリストの道 ピリピ3:10~11

私は、キリストとその復活の力を知り、キリストの苦難にもあずかって、キリストの死と同じ状態になり、何とかして死者の中からの復活*に達したいのです。

■パウロは、完全なキリストの道を求めた。苦難、死、復活(栄光の体)*に至るまで。

➔見据えているのは、**栄化***のゴール

栄化を求め、栄化を希望に!!



エペソの遺跡

14

勧告 聖化の求道者 ピリピ3:12

私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。**ただ捕らえようとして追求している***のです。そして、それを得るようと、キリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。

- キリストが私を捕らえてくださったから、
栄化を求めて、聖化の道を歩み続ける。
- ➡キリスト者の生涯

完成へ向かって成長していくのが、信仰者



エペソの道跡

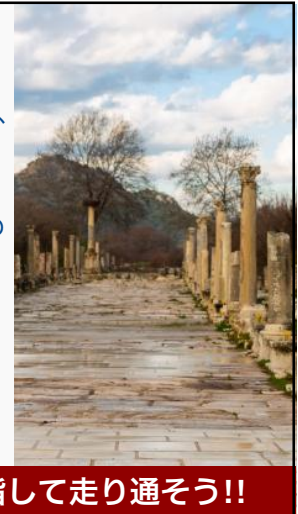
15

勧告 栄化に向かって ピリピ3:13~14

兄弟たち。私は、自分がすでに捕らえたなどと考えるはいません。ただ一つのこと、すなわち、**うしろのものを忘れ***、**前のもの***に向かって身を伸ばし、**キリスト・イエスにあって神が上に召してくださるという、その賞***をいただくために、目標を目指して走っているのです。

- *背きと罪の中に死んでいた自分(エペソ2:5)
- *神の国で与えられる、栄光の体・永遠の命

義認から始まった聖化の道を、栄化を目指して走り通そう!!



16



Ⅱ. 成熟した信仰者として

ピリピ人への手紙3章15~21節

エペソの道跡

17

勧告 成熟した信仰者 ピリピ3:15

ですから、**大人である人***はみな、このように考えましょう。もしも、あなたがたが何か違う考え方をしているなら、そのことも**神があなたがたに明らかにしてください***。

- *信仰の成熟した人(1コリ2:6)
- *過ちは必ず主が正してくださる
- 大人として判断できる信仰者として、
成長し、成熟しているか？
- ➡神に委ねることができているか？



エペソの図書館跡

18

勧告 ただし、私たちは 3:16

ただし、私たちは*到達したところを基準にして進むべきです。

- 他者のことは神に委ねたとしても、自分自身は、主に従い歩むべき。
→信仰の成長は段階的に促される
- 信仰の成長の度合いに応じて、主に従う責任・責務も増していく。

一人一人が、主に問われている



エペソの図書館跡

19

勧告 倣う者の責任 ペリピ3:17

兄弟たち。私に倣う者となってください*。
また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めて*ください。

- *信仰の先達者を見倣いつつ、
- *共に歩む人々にも目を配る。支え合う。

使徒たちの教えを共に学び、互いに配慮していく大切さ!!



20

勧告 十字架の敵 ペリピ3:18

というのは、私はたびたびあなたがたに言ってきたし、今も涙ながらに言うのですが、多くの人がキリストの十字架の敵*として歩んでいるからです。

- *キリストの十字架を拒む者、外にも内にも。
→道を外れ、教会を離れる者も多くいた
- 切実に人々の救いを求め、互いに励まし、戒めあい、共同体の信仰を守るように!!



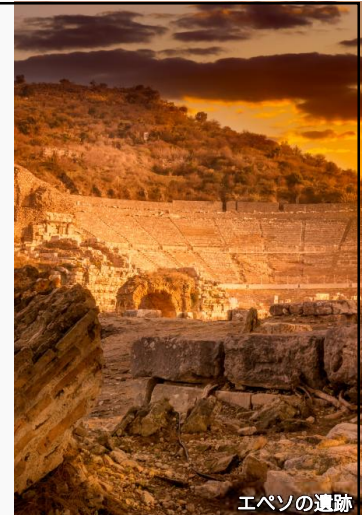
エペソの遺跡

21

勧告 滅び行く者たち ペリピ3:19

その人たちの最後は滅び*です。彼らは欲望を神とし、恥ずべきものを栄光として、地上のことだけを考える*者たちです。

- *不信仰者と偽信者の末路は永遠の滅び
- *偶像礼拝の罪の本質
- 私たちに信仰者に求められることは？
→唯一の神を神とし、
主の栄光をほめたたえ、
神の国を第一に考え、求める。



エペソの遺跡

22

信仰者への求め

「まず神の国と神の義を求めなさい。
そうすれば、これらのものはすべて、
それに加えて与えられます。
マタイ福音書6:33」

23

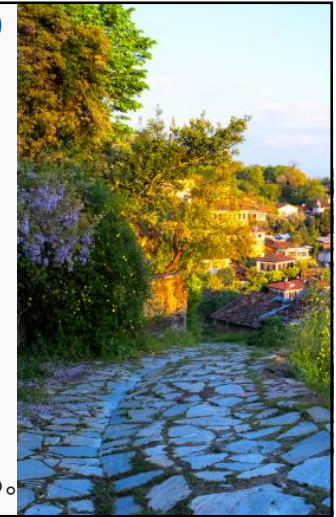
勧告 我らが国籍は天にあり ピリピ3:20

しかし*、私たちの国籍は天にあります。
そこから主イエス・キリストが救い主として
来られるのを、私たちは待ち望んでいます。

*多くの人々は、キリストに敵対し、
滅びの道に向かっているが…。

*すでに、神の国の永遠の民とされている

■主イエスは、世の終わり、大艱難の最後、
栄光の王として神の国を建設され、
私たちを栄光の体で永遠に住まわせられる。



24

勧告 栄化のゴール ピリピ3:21

キリストは、万物をご自分に従わせる
ことさえできる御力*によって、私たち
の卑しいからだを、ご自分の栄光に輝く
からだと同じ姿*に変えてくださいます。

*嵐を鎮め、使者を蘇らされた。

→世界を造り変え、永遠に支配される。

■栄光のキリストは、復活の初穂。

→後に続くすべての信仰者にも、
復活の栄光の体*が与えられる。



エペソの遺跡

25



III. まとめと適用 天に国籍がある、確信を育もう

エペソの遺跡

26

宣言の背景を押さえよう!!

- “大人である人(成熟した信者)”への呼びかけ
 - ① 信仰者が道を間違ふことがある → 必ず正される
 - ② 他人に左右されず、段階を追って成長していくことが大切
 - ③ 使徒たちの教えを、兄弟姉妹と共に学び、互いに配慮しあう
 - ④ 教会の外にも内にもいる、キリストの十字架の敵に警戒する
 - 敵対者の末路は滅び
- 信仰者の成長の過程において、霊的戦いは尽きることはない
「しかし、私たちの国籍は天にあります。エペソ3:20」

27

信仰者に求められる、成長と成熟

- 「しかし、私たちの国籍は天にあります。エペソ3:20」
- この宣言は、**成熟した信仰者だからこそ、口にできること。**
 - 神の計画の全貌を理解し(特に終末論が重要)、
主への信頼の上に日々を歩んでいることが、大前提!!
- 大きな苦難や厳しい試練の中で、希望と力を与えるのは、
主が約束された、来るべき神の国、栄光の体、永遠の命。

28

信仰の成長のための確認事項

- そもそも何を信じて救われた？
 - 主イエスの十字架と復活の福音
- 信じた瞬間、何が起こった？
 - すべての罪を赦され、新生し、聖霊が内住
- どうしたら、変わっていける？
 - 主の御言葉により、内住する**聖霊の助け**によって
- どこで、変えられていく？
 - キリストの体なる教会に連なる、**兄弟姉妹の関係性**の中で

29

神の約束が私たちを育む

- ① **神の約束を学ぶ**
 - 聖書は、旧約も新約も、全体が、神の約束の書
- ② **神の約束を守る**
 - 主に聞き従うことは、主の約束を守ること
今の時代に従うべきは、キリストの律法、使徒の教え
- ③ **悔い改めて、神の約束に立ち返る**
 - 過ちを犯し、約束を破ってしまった時には悔い改める
悔い改められない人は、そもそも神の赦しを得ている？

30

約束とは何か？

- 誓いは果たせ、約束は守れ、言ったことはやれ → 聖書の原則
(※ダブルル…話す、語る、命じる、約束する)
- 主の前に表明したことは、主への誓い、約束とみなされる。
→ 「主の名をみだりに口にしてはならない(出20:7)」
- 「偽って誓うな、誓ったことを主に果たせ(マタイ5:33)」
主イエスの命令は、“「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」”
→ 従うべきは従う。拒むべきは拒む。ただ主の約束を守る
ただ主の約束を守り、主の約束に生きるだけ!!

31

「悔い改め」という恵みの根拠

- 「私の罪は赦された」、主の赦しを得ているからこそ、
私たちは主を仰ぎ見ることができる。
- 罪を犯した時、悔い改めて立ち返ることができるのも、
私たちが主の赦しを得ているから。
- 「神様は、絶対に私を見捨てない」 → 教育的刈り取りも!!
→ この信仰の確信があつてこそ、聖化の道を歩んでいける
悔い改めの特権を日々行使していくのが、信仰者

32

★ 天に国籍がある、確信を育もう ★

- 私を成長させ、完成に至らせられる、主の約束に信頼しよう。
- 主の約束に生きる者に変えられていこう。
言ったことはやる。誓いは果たす、約束は守る。
何よりも、誠実に主に聞き従っていこう。
- 過ちを犯したら直ぐ、主の約束に悔い改めて立ち返ろう。
私の力でできるはずのないことを、主が成し遂げてくださる。

私の国籍は天にある 確信をもって宣言できる成熟した信仰者へ!!

33

てん どう つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください
わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
はか ほうむ
②墓に葬られ、
みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。
わたし うち す せいれい わたし か
私の内に住まわれる聖霊が、私を変えてくださいます。
しゅ やくそく まな しゅ やくそく い わたし しゅ こ
主の約束を学び、主の約束に生きるのが、私たち主の子どもです。
あやま きづ とし とき す く あらた た かえ
過ちに気付かされた時には、直ぐに悔い改めて立ち返ります。
わたし こくせき てん かくしん つか
私たちの国籍は天にあります。この確信をもって遣わしてください。
しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」

34